

2018年3月期 第2四半期

決算説明会

2017年 11月8日(水)



電子デバイス&コンポーネント総合商社

株式会社 **エクセル**

(証券コード：7591 東証一部)

1 2018年3月期 第2四半期 決算概要

2 2018年3月期 業績予想

APPENDIX

- 第7次中期経営計画 策定 [2017-2019年度]
 - DATA SHEET
-

1

2018年3月期 第2四半期 決算概要

2018年3月期 第2四半期 総括

事業環境

- 円安基調の下で世界的な製造業サイクルの好転による輸出の回復や雇用所得環境の改善等を受けて、引き続き緩やかな回復基調が継続
- 海外市場では、新興国需要を中心にスマートフォン市場の拡大が継続している一方で、PCや液晶テレビ等伸び悩む製品群もあり、メーカー間の競争や変動も激しい
- エレクトロニクス業界では、IoT、AI等への参入が本格化

業績

- 国内外とも大型から中小型まで液晶販売は増加したものの、海外市場における液晶モジュール用デバイス等の販売が減少したことにより、売上高は前年同期比若干増加
- 営業利益は特殊案件の処理ならびに経費の増加により前年同期比減益
- 経常利益は、為替差損並びに支払利息の大幅減少により、前年同期比増益
- WINTEK向け売掛債権に対する貸倒引当金の一部（16%）を戻し入れたことにより、22億円の特別利益を計上

トピックス

- 第7次中期経営計画のスタート（4月）
- 子会社ADSへの増資完了、ビジネス本格稼働（4月）
- Astra社とのIoTビジネスの開始（10月本格稼働）

2018年3月期 第2四半期 ハイライト

連 結	2017年3月期 第2四半期 実績	2018年3月期 第2四半期 予想* (2017.5.15公表)	2018年3月期 第2四半期 実績 金 額(百万円)	2018年3月期 第2四半期 実績	
	金 額(百万円)	金 額(百万円)		対前年同期 <上段> 増減額(百万円)	対予想 <下段> 増減率
売上高	47,391	53,000	49,530	+2,139 +4.5%	△3,470 △6.5%
営業利益 【営業利益率】	910 【1.9%】	720 【1.4%】	818 【1.7%】	△92 △10.2%	+98 +13.6%
経常利益 【経常利益率】	662 【1.4%】	680 【1.3%】	827 【1.7%】	+165 +24.8%	+147 +21.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 【純利益率】	642 【1.4%】	550 【1.0%】	2,537 【5.1%】	+1,895 +295.3%	+1,987 +361.3%
E P S (円)	74.09	63.46	292.85	+218.76	+229.39
配当(円)	17	20	20	+ 3	予想通り

*2017.10.26 業績予想の修正を公表しております

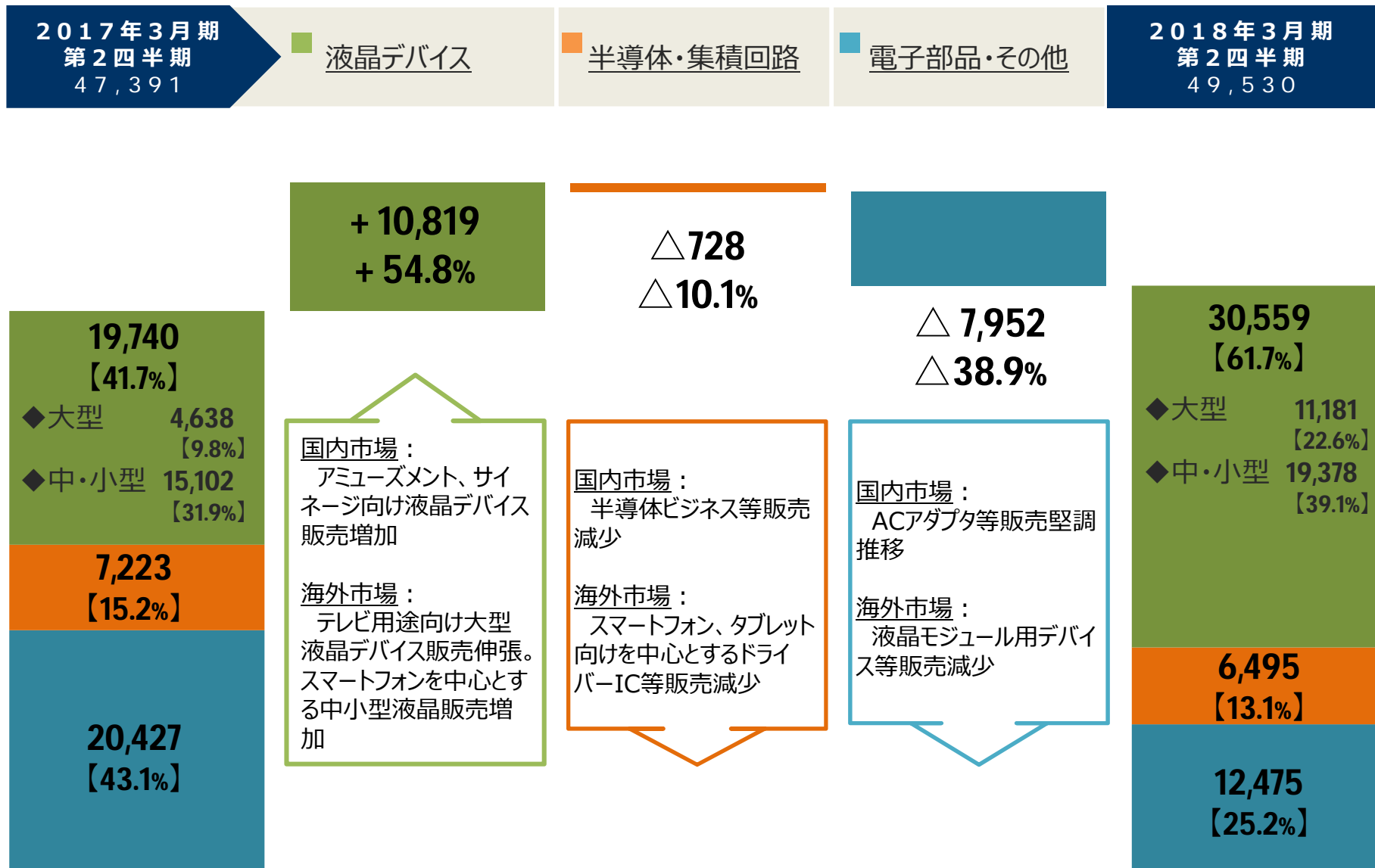
2018年3月期 第2四半期 損益状況

連 結	2017年3月期 第2四半期 実績		2018年3月期 第2四半期 実績				主な増減要因 (金額は百万円)
	金 額	売上高比	金 額	売上高比	対前年同期		
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	増減額(百万円)	増減率	
売上高	47,391	100.0	49,530	100.0	+2,139	+4.5%	日本：+1,706 アジア：△441 その他（メキシコ）：+877（新規）
売上原価	44,602	94.1	46,747	94.4	+2,145	+4.8%	日本：特殊案件処理で増加（+95）
売上総利益	2,789	5.9	2,782	5.6	△7	△0.3%	日本：売上総利益率若干悪化
販管費	1,878	4.0	1,964	4.0	+86	+4.6%	海外で経費圧縮に努めたものの、日本で 新規事業部門の増員による経費増
営業利益	910	1.9	818	1.7	△92	△10.2%	主に日本での販管費増が影響
営業外収益	144	0.3	132	0.3	△12	△8.3%	
営業外費用	392	0.8	122	0.2	△270	△68.9%	支払利息減：△107 為替差損：△204
経常利益	662	1.4	827	1.7	+165	+24.9%	
特別利益	179	0.4	2,228	4.5	+2,049	+1,144.7%	貸倒引当金戻入額：+2,049 特別利益2,228は全額WINTEK関連*
特別損失	7	0.0	—	—	—	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	642	1.4	2,537	5.1	+1,895	+295.3%	

*詳細は2017.10.26付適時開示をご参照ください

2018年3月期 第2四半期 品目別売上高：対前年同期

(単位：百万円)【売上高構成比率】



2018年3月期 第2四半期 財務状況/キャッシュ・フロー状況

連結	2017年3月期末		2018年3月期第2四半期末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
流動資産	40,699	83.0	43,818	80.4	+3,119	現預金△1,473 受手売掛金電子記録債権+1,399 在庫+3,298
固定資産	8,358	17.0	10,713	19.6	+2,355	貸倒引当金 +2,779 (▲14,469→▲11,690) 投資有価証券+659 繰延税金資産△543
資産合計	49,057	100.0	54,532	100.0	+5,475	
流動負債	24,061	49.0	25,519	46.8	+1,458	支手買掛金+3,652 借入金△966 その他△1,187
固定負債	1,555	3.2	1,559	2.9	+4	
負債合計	25,616	52.2	27,079	49.7	+1,463	
純資産合計	23,440	47.8	27,452	50.3	+4,012	利益剰余金+2,391 有価証券評価差額金+299 非支配株主持分+1,273
負債・純資産合計	49,057	100.0	54,532	100.0	+5,475	※自己資本比率：47.3%→47.6%

	2017年3月期 (百万円)	2018年3月期第2四半期 (百万円)	(参考) 在庫と借入金の推移		
				2017年3月期末 (百万円)	2018年3月期 第2四半期末 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,332	▲1,481			
投資活動によるキャッシュ・フロー	216	▲267			
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲19,077	350	在庫	8,345	11,643
現金及び現金同等物 増減額	△7,565	△1,460	借入金	9,820	8,854
現金及び現金同等物 期末残高	8,719	7,259	ネットDebt	592	1,099

2

2018年3月期 業績予想

2018年3月期 業績見通し（一部修正）

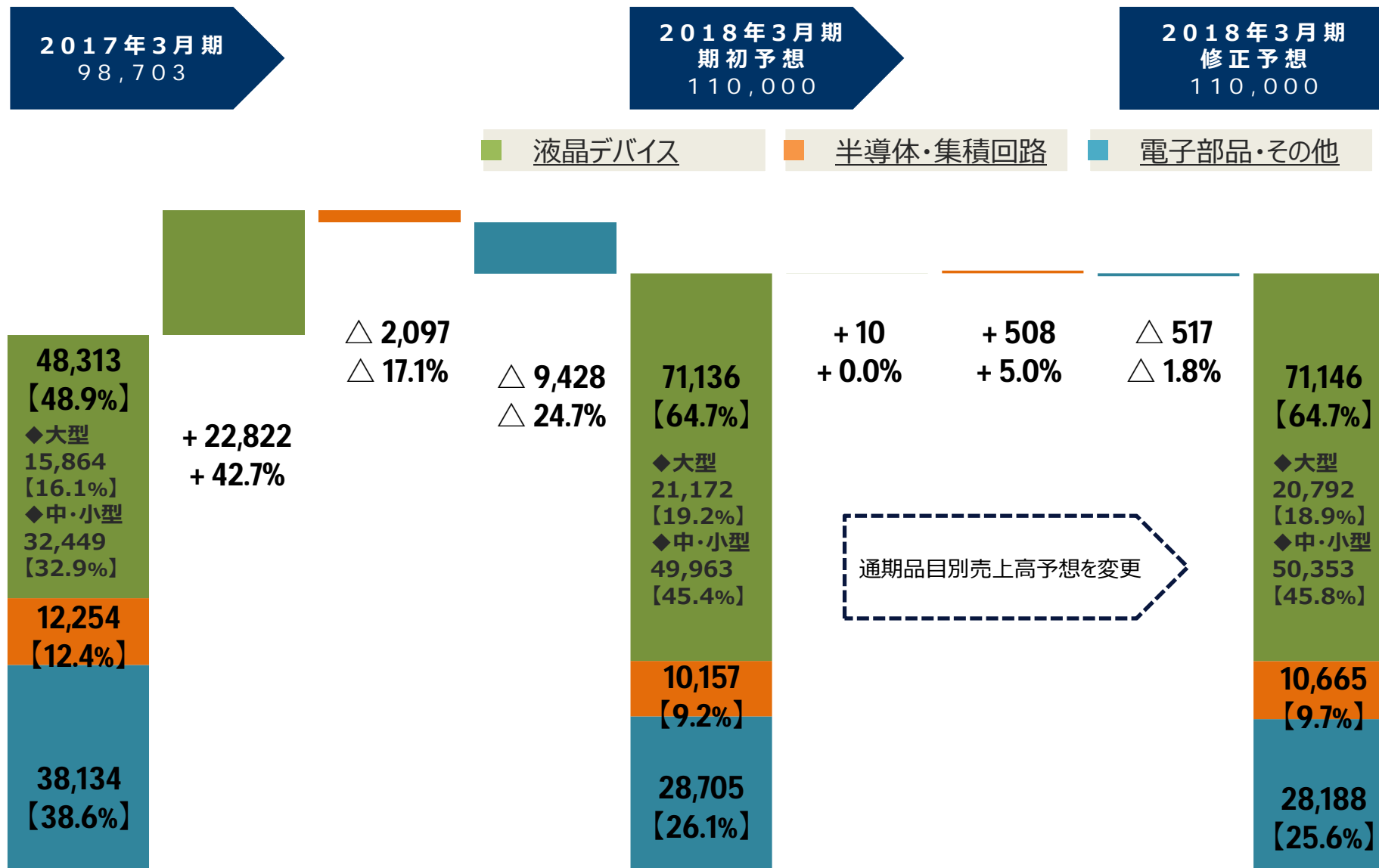
連結	2017年3月期			2018年3月期予想（2017.10.26公表修正業績予想）*1					
	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期	上期実績	下期	通期
	金額(百万円)			金額(百万円)			対前年同期		
							<上段>増減額(百万円) <下段>増減率		
売上高	47,391	51,312	98,703	49,530	60,470	110,000	+2,139 +4.5%	+9,158 +17.8%	+11,297 +11.4%
営業利益 【営業利益率】	910 【1.9%】	850 【1.7%】	1,760 【1.8%】	818 【1.7%】	982 【1.6%】	1,800 【1.6%】	△92 △10.2%	+132 +15.5%	+40 +2.3%
経常利益 【経常利益率】	662 【1.4%】	786 【1.5%】	1,448 【1.5%】	827 【1.7%】	773 【1.3%】	1,600 【1.5%】	+165 +24.8%	△13 △1.7%	+152 +10.5%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益 【当期（四半期） 純利益率】	642 【1.4%】	423 【0.8%】	1,065 【1.1%】	2,537 【5.1%】	643 【1.1%】	3,180*1 【2.9%】	+1,895 +295.3%	+220 +52.0%	+2,115 +198.6%
EPS（円）	74.09	48.85	122.94	292.85	74.09	366.94*1	+218.76	+25.24	+244.00
配当（円）	17	17	34	20	55*2 内、特別配当30	75*2	+3	+38	+41

*1 期初業績予想：親会社株主に帰属する当期純利益 1,300百万円 EPS 150.01円 その他 不変

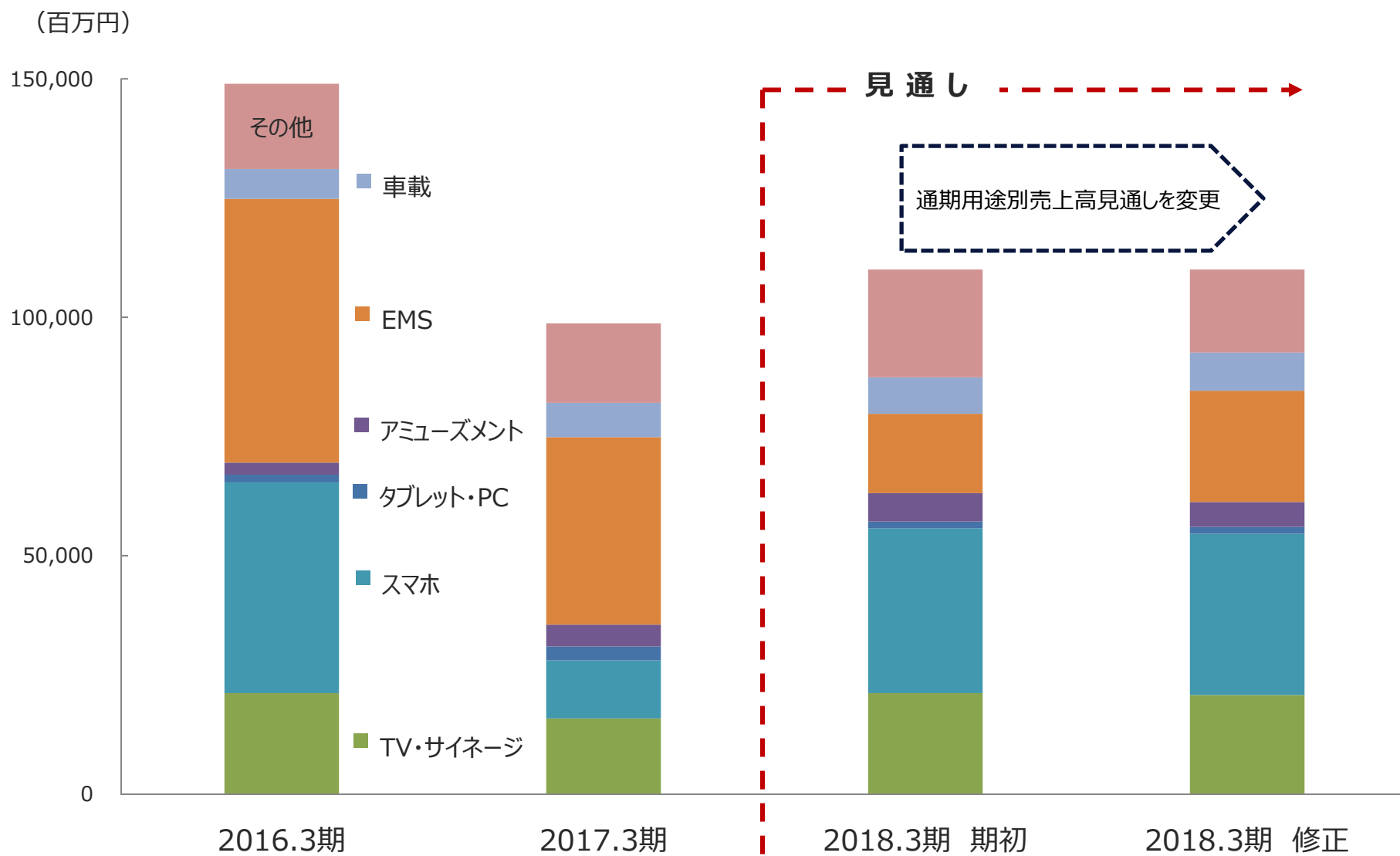
*2 期初配当予想：期末 25円 合計 45円 なお2018年6月定時株主総会に付議予定

2018年3月期 品目別売上高の見通し（変更）

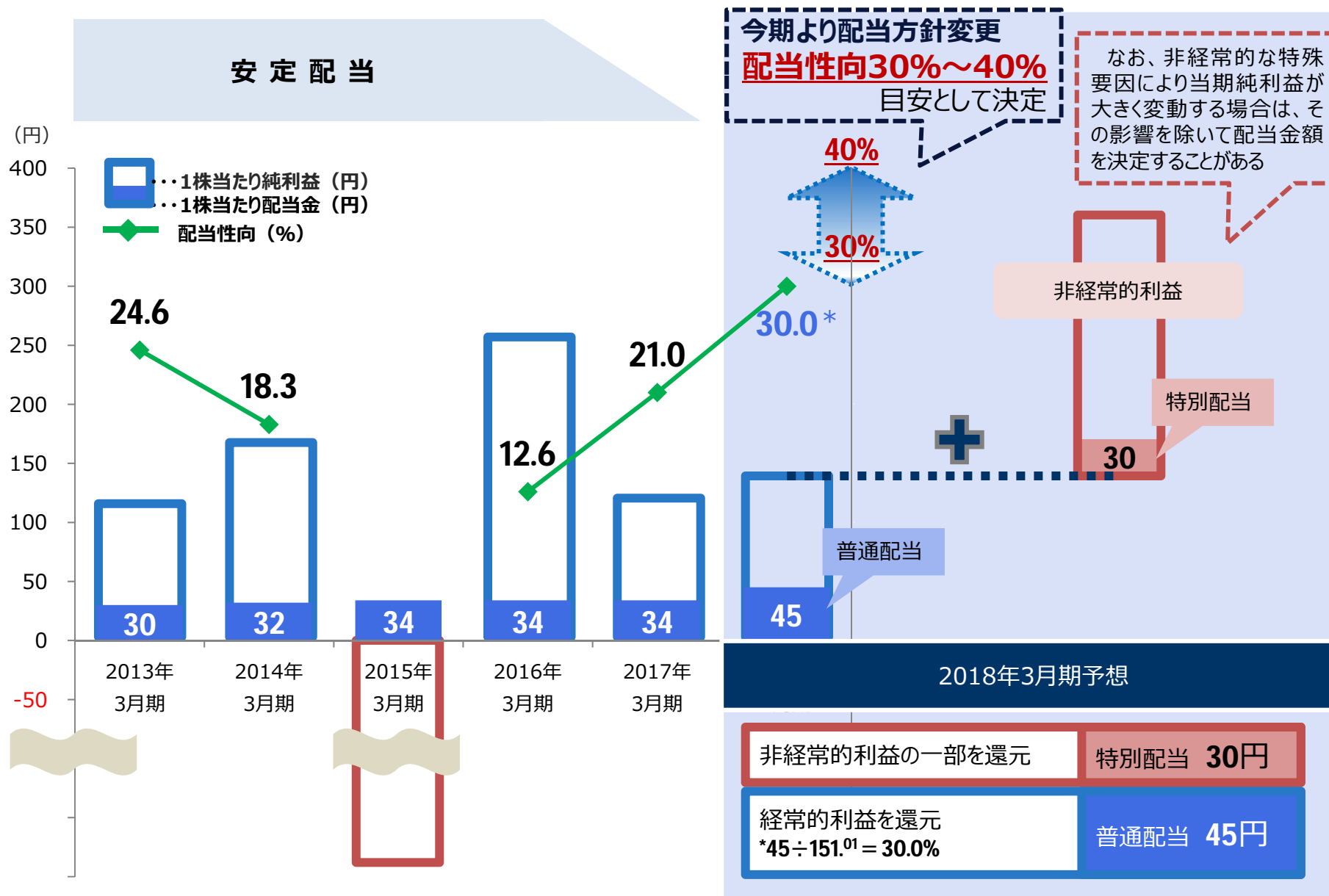
（単位：百万円）【売上高構成比率】



(参考) 用途別売上高の推移 (今期見通し変更)



株主還元の推移（今期配当予想修正）



成長戦略の進捗サマリー

1

液晶総合力でNo.1となる

- 既存：中国向け大型液晶好調、EMS継続
- 新規：交通インフラ向け及び商業施設向け液晶に産業用PCを絡めたソリューション展開推進中
- ADS：上期立ち上げ、下期以降も順調の見込み

2

電源とパワーデバイスの両輪を極める

- スマホ向けACアダプター伸長
- 日系素材を取り込んだ組み込み電源に注力

3

‘IoT’のビジネスモデルを確立する

- IoT向けネットワークカメラ、リカーリングビジネス
⇒ 下期スタート
- ビジネス拡大に向け、協業先と協議中

4

取扱製品を拡充・拡販する

- 新規仕入先と車載、コンシューマ、オーディオ分野等への取り組み開始

5

新規市場を開拓する（中長期）

- 新規取引先への出資
- EV市場の開拓に着手

APPENDIX

- 第7次中期経営計画 策定 [2017-2019年度]

第7次中期経営計画（18.3－20.3）概要①

【計数目標（最終年度：2020年3月期）】

収益力	売上高	2,000億円	2017年3月期対比 2.0 倍
	経常利益	40億円	2017年3月期対比 2.8 倍
資本効率	ROE	8%	2017年3月期対比 +3.4 p

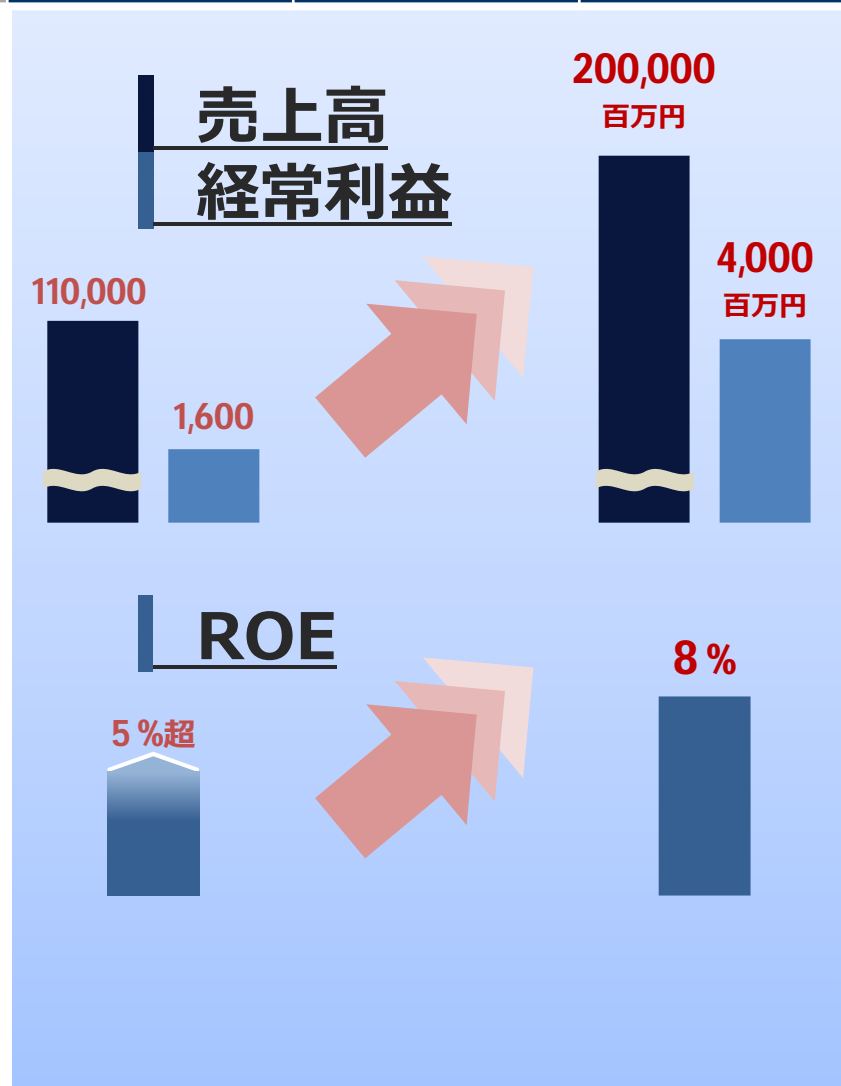
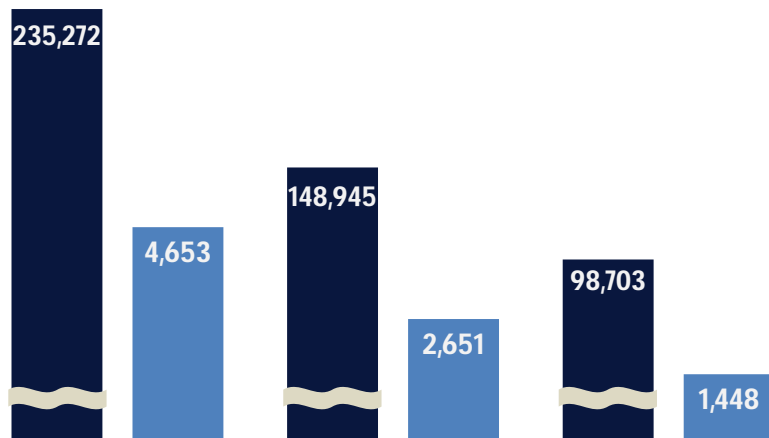
【配当方針の変更】

株主還元	配当性向	30～40% (目安)	従来 (第6次中期経営計画) 34円維持向上
------	------	----------------	------------------------------

※詳細は2017年5月15日付プレスリリースをご参照下さい

第7次中期経営計画（18.3－20.3）概要②

2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期 予想	2020年3月期 計画
----------	----------	----------	----------------	----------------



当社を取り巻く事業環境

《 マクロ環境 》

世界

- ◆ 保護貿易、ポピュリズム、民族主義
- ◆ 地政学的リスク

不透明感の高まり

日本

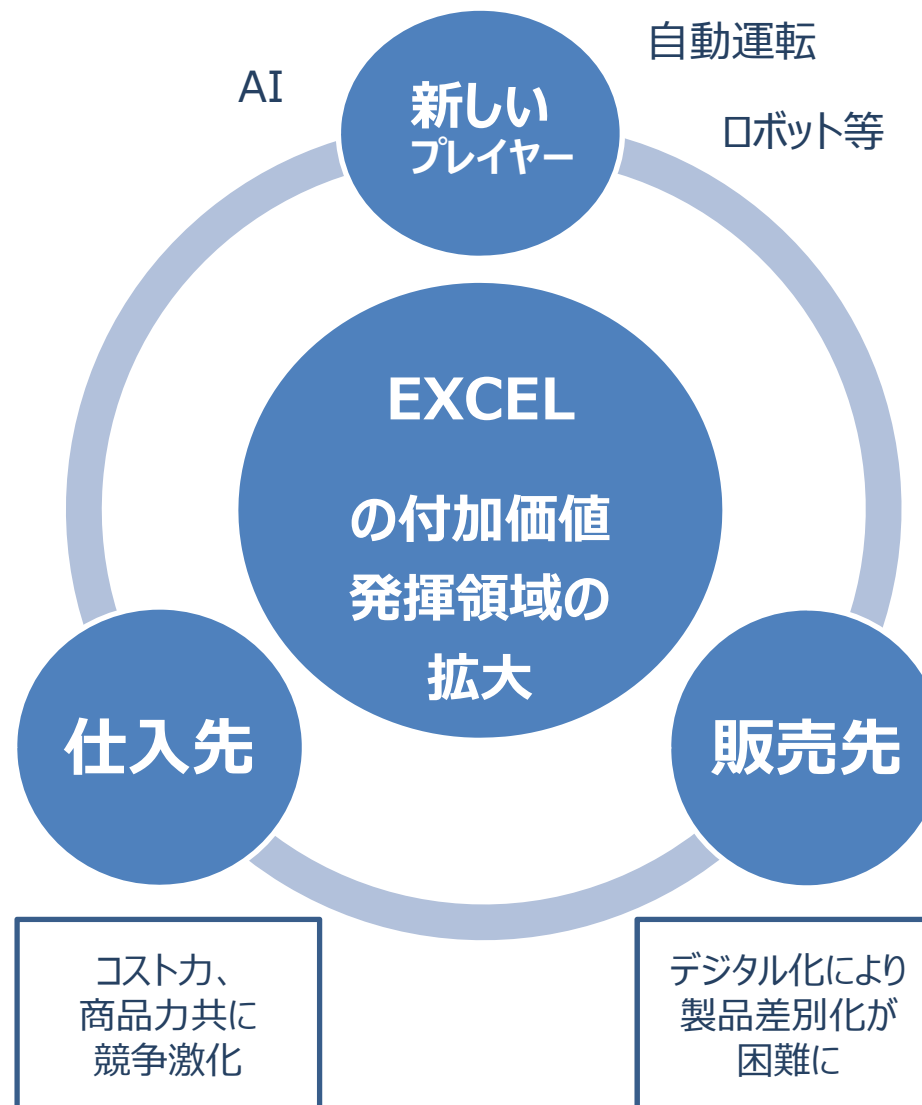
- ◆ 東京オリンピック開催に向けたインフラ投資需要
- ◆ 先行き読み難い景気・為替動向
緩やかな回復も力強さを欠く

エレクトロニクス業界

- ◆ ハード機器販売からソフトウェアを絡めたソリューション販売へのシフト加速
- ◆ 部品購買・自社組み立てから、ユニット購入等により付加価値を付けて差別化を図る流れ

ソリューション力が不可欠

《 事業環境 》



基本方針

企業理念「EX21」

私たちは、企業は公器であることを認識し、
すべての顧客・仕入先・社員・社会・株主に会社の継続的な成長によって満足を提供します。



【基本方針】 エクセルが目指す会社

人とテクノロジーを結び付けること
Connecting people with technologies

『行動指針』

3C (Change・Challenge・Create) の実践

1

液晶総合力でNo.1となる

2

電源とパワーデバイスの両輪を極める

3

‘IoT’のビジネスモデルを確立する

4

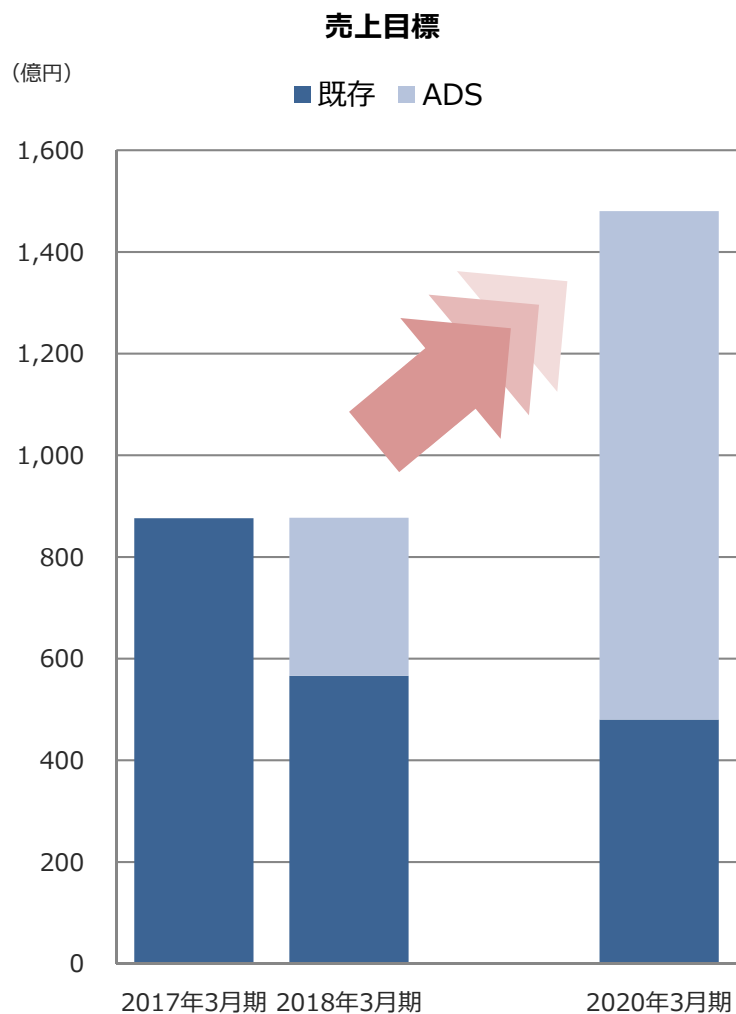
取扱製品を拡充・拡販する

5

新規市場を開拓する（中長期）

1

液晶総合力でNo.1となる

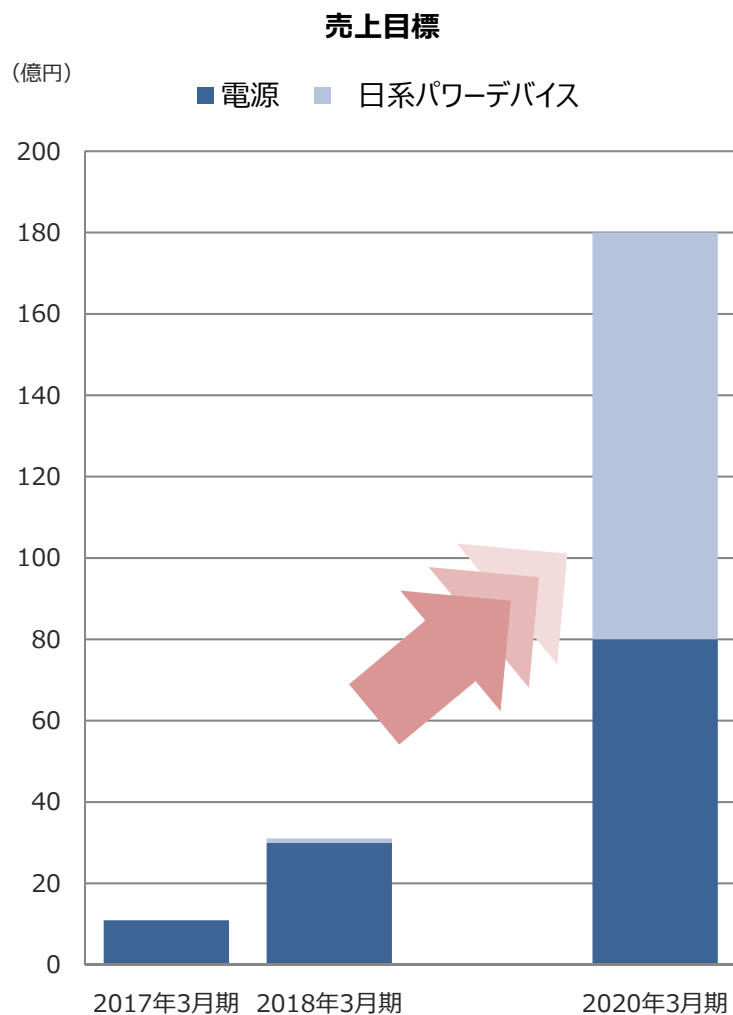


◆ 液晶をコアビジネスと位置付ける
新しい表示デバイスの市場を先取りし、
サプライヤーとユーザーを結び付けることで
ビジネスチャンスを確実に捉える



2

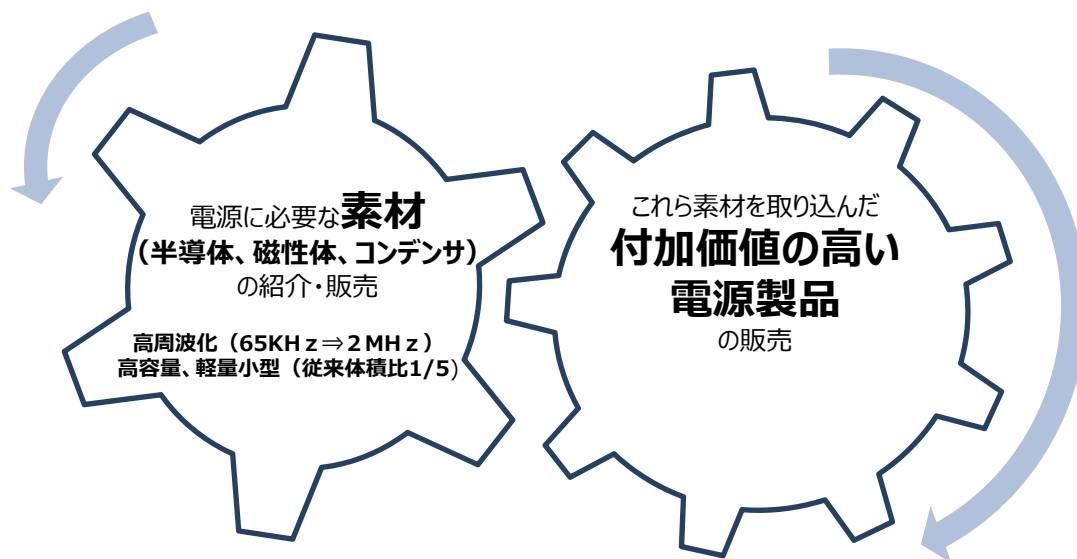
電源とパワーデバイスの両輪を極める



◆ 電源・パワーデバイスを

第二の柱に育てる

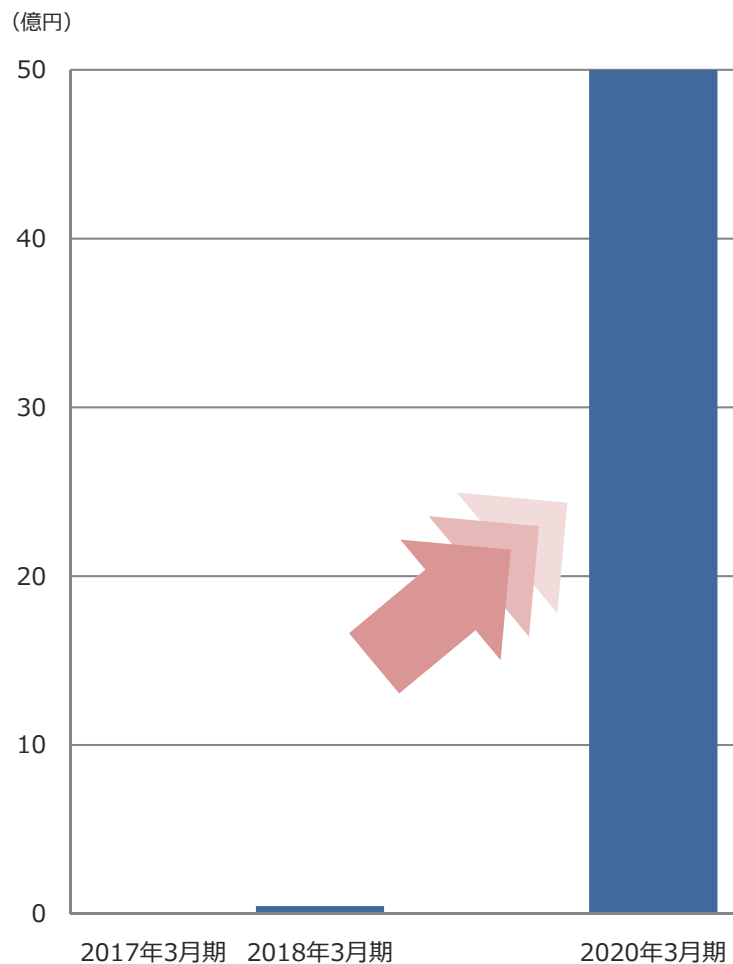
日系パワーデバイスの優れた製品と
電源メーカーを結び付け、
中国、ASEAN地区のEVチャージャー、
モバイル電源、組込電源に注力



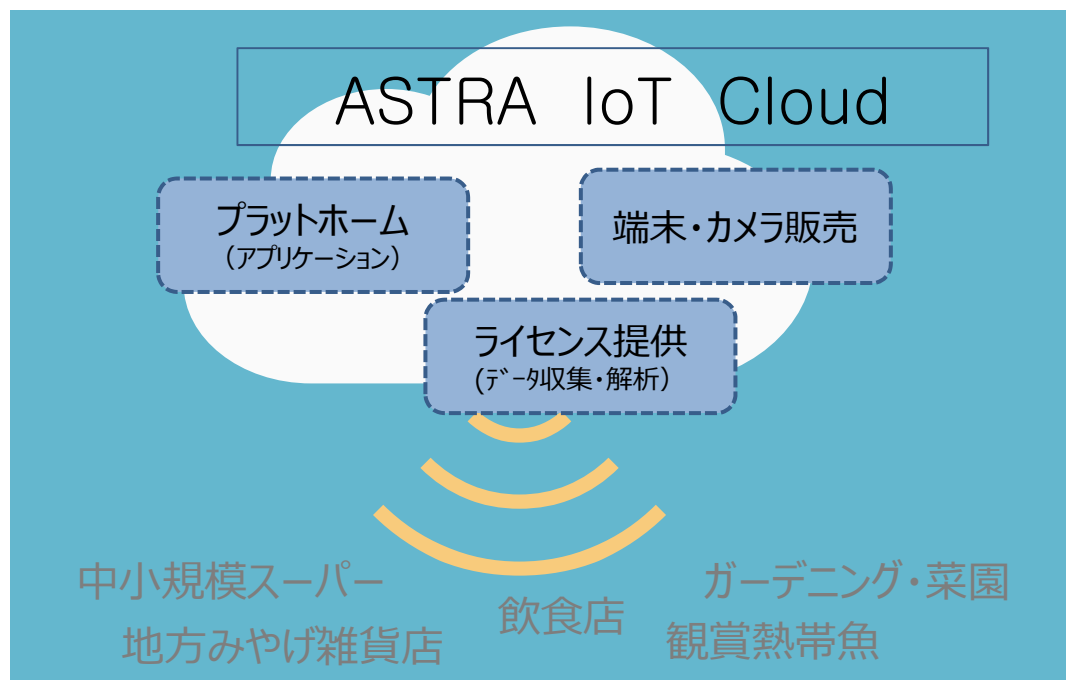
3

‘IoT’のビジネスモデルを確立する

売上目標

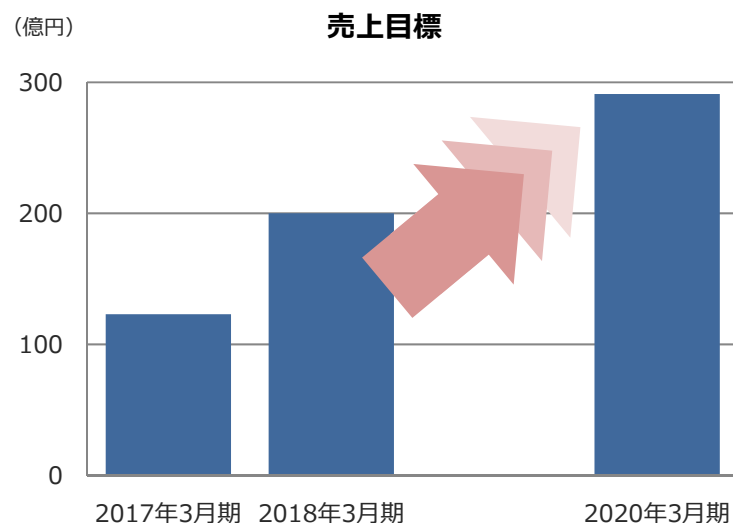


◆ASTRA社と連携し、カメラ等を活用したIoTのプラットフォームを提供し、ライセンスビジネスを推進する
専門家がいない会社や個人とIoTを結び付け、簡易に動態分析ができる環境を提供



4

取扱製品を拡充・拡販する



◆ 新規仕入先・新規商材を発掘し、顧客のニーズと結び付けることで、ビジネスの拡大を図る

5

新規市場を開拓する（中長期）

◆ 「事業企画部」の新設

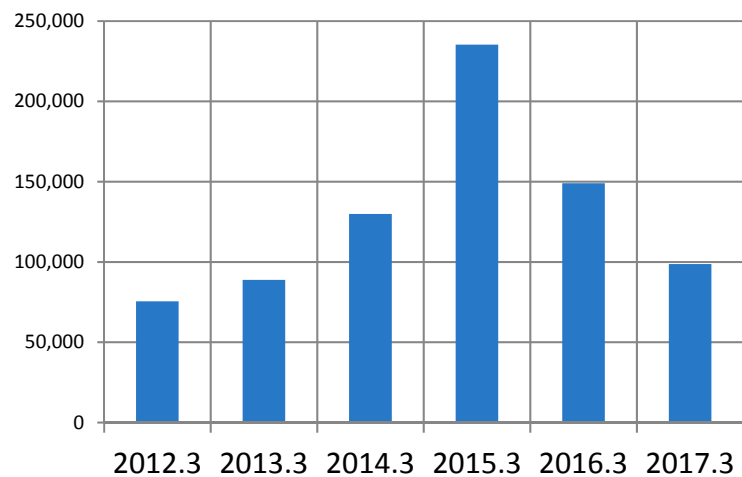
- 既存ビジネスの枠を超えた事業領域への進出
(AI、自動運転、ロボット等)
- 地域別、産業別マクロ分析による事業戦略の策定

APPENDIX

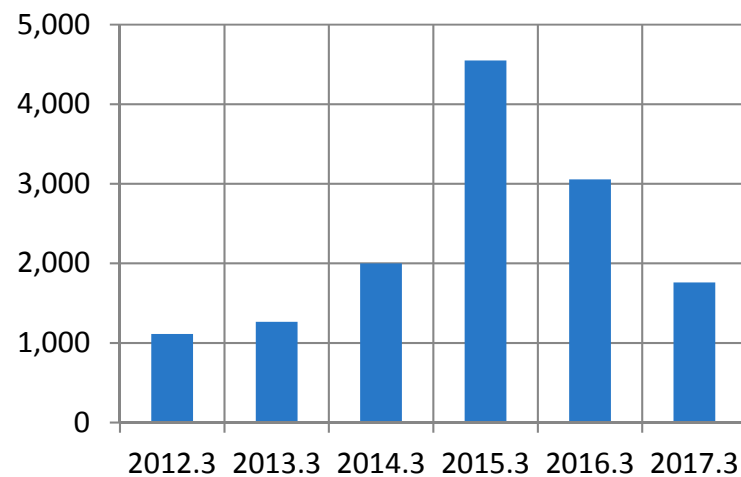
- DATA SHEET

		単位	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3
業績	売上高	百万円	75,392	88,840	129,806	235,272	148,945	98,703
	営業利益	百万円	1,111	1,265	1,999	4,549	3,054	1,760
	経常利益	百万円	1,716	1,139	2,263	4,653	2,651	1,448
	当期純利益	百万円	732	1,054	1,517	-7,805	2,330	1,065
1株データ	1株当たり当期純利益[EPS]	円	84.53	121.73	175.14	-900.72	268.87	122.94
	1株当たり純資産[BPS]	円	2,602.68	2,654.80	3,282.77	2,401.57	2,628.34	2,676.65
	1株当たり配当金	円	30	30	32	34	34	34
資産・負債	総資産	百万円	33,643	52,589	66,831	107,949	67,192	49,057
	純資産	百万円	23,007	24,916	28,476	20,864	22,915	23,440
	自己資本比率	%	68.4	47.4	42.6	19.3	33.9	47.3
財務指標	自己資本利益率[ROE]	%	3.2	4.4	5.7	—	10.7	4.6
	株価収益率[PER]	倍	9.7	7.7	6.5	—	5.2	12.2
キャッシュ・フロー	営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-2,755	-58	-610	-39,224	31,977	12,332
	投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-245	-626	-72	-49	-60	216
	財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-1,491	2,934	2,384	41,467	-28,177	-19,077
	現金及び現金同等物の期末残高	百万円	5,440	7,853	9,809	12,708	16,284	8,719

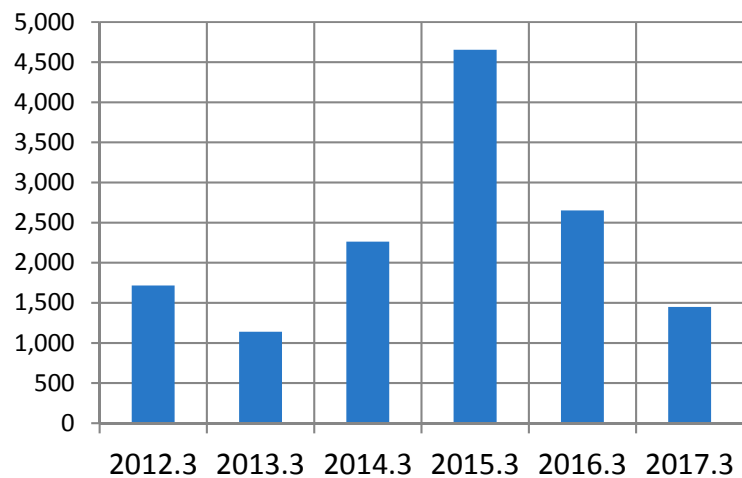
売上高 (百万円)



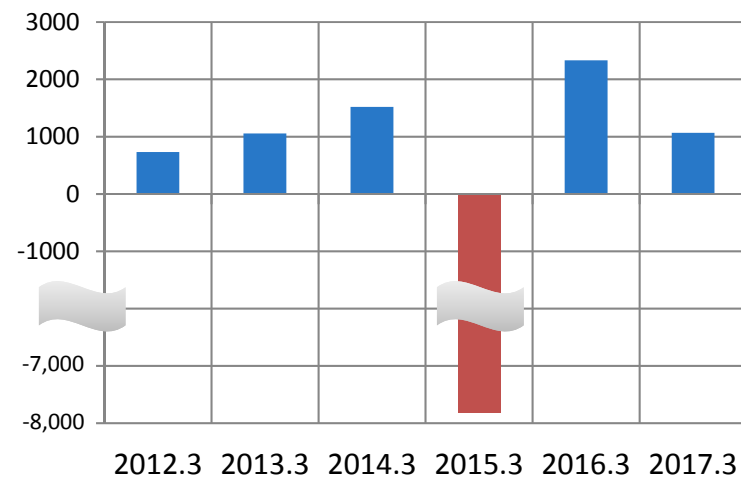
営業利益 (百万円)



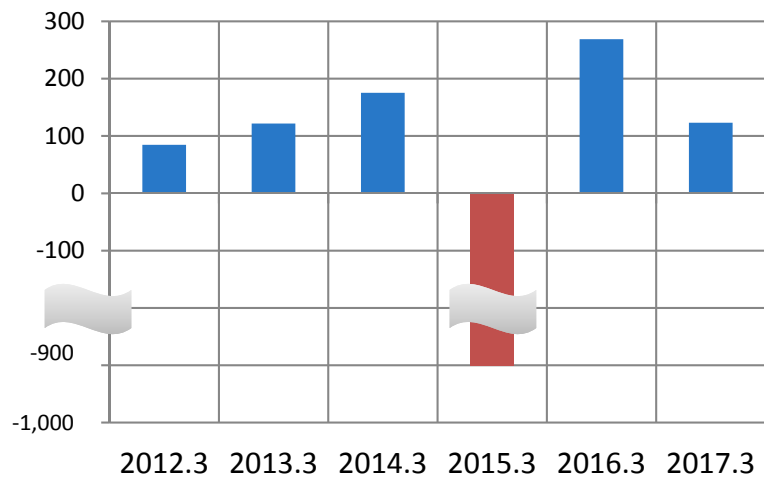
経常利益 (百万円)



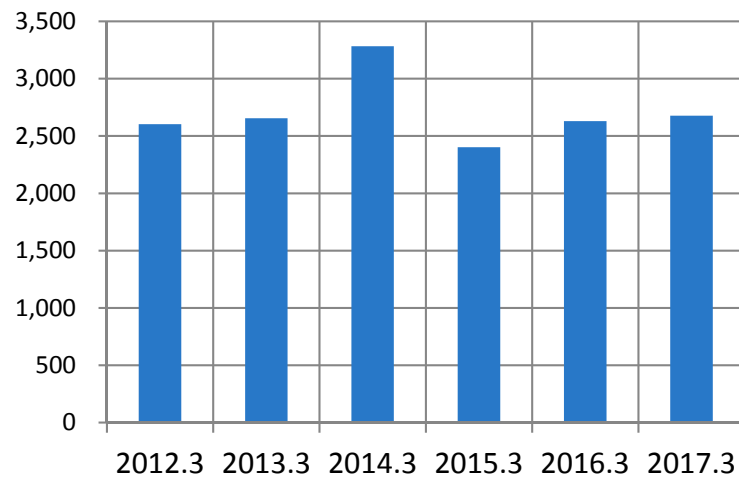
当期純利益 (百万円)



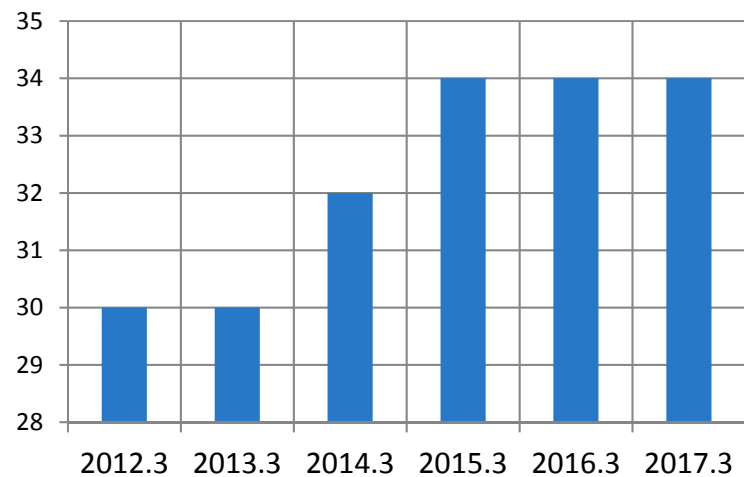
1株当たり当期純利益[EPS] (円)



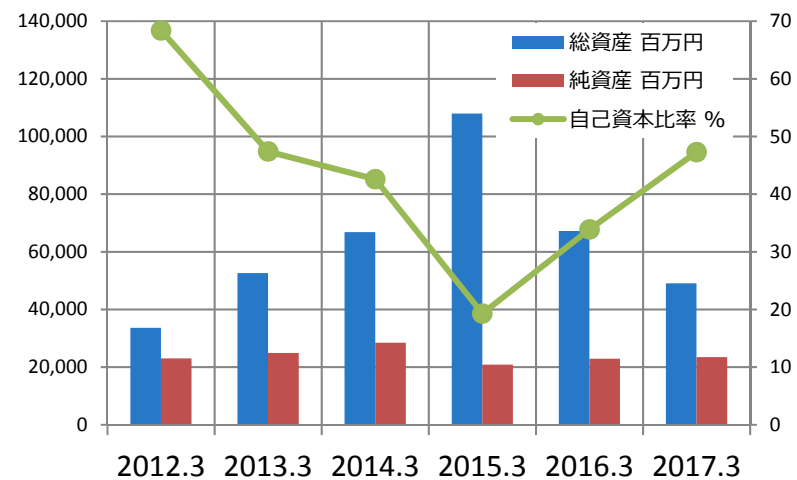
1株当たり純資産[BPS] (円)



1株当たり配当金 (円)



総資産 (百万円) 純資産 (百万円) 自己資本比率 (%)



資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている株式会社エクセルの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。



<http://www.excelweb.co.jp/investor/index.html>